

こども新聞 週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行
2026 4/19



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

意見表明の 権利

こども 基本法3年



Ⓣ アドボケイト



「子どもアドボカシー」
「?」って知ってる?
子どもの意見に耳を傾
け、自分で言葉にするお
手伝いや代弁をする取り
組みだよ。この活動を推

きょうのテーマ

声上げる「マイク」の役割

10 人や国の不平等
をなくそう



進する一般社団法人「子
どもアドボカシーセンタ
ーみやぎ(仙台市)」は、
さまざまな事情で児童
福祉施設で暮らす子ども
の声を聞き、子どもの権
利を守っているよ。
(8面に関連記事)



子どもアドボカシーを
行う人は「子どもアドボ
ケイト」と呼ばれます。
小さな声を大きくする役

子どもアドボカシー
アドボカシーは英語で「弁
護、支持」を意味しますが、元
々はフレンチ語の「voce(声
を上げる)」に由来します。子
どもアドボカシーは1980年
代に英国で始まり、日本では2
010年代に広まりました。

割を担うため、「マイク
のような存在」と言われ
ています。

法人は県内で唯一、ア
ドボケイトの養成講座を
実施しています。代表理
事の檀崎たつみさん(61)
によると、20〜60代の弁
護士や教師、主婦ら25
人をアドボケイトとして
登録しています。

主な活動場所は児童相

談所の一時保護所や児童
養護施設などです。20
22年4月から宮城県と
仙台市の委託でアドボケ
イトを施設に派遣し、子
どもが意見表明の権利を
行使できるようサポート
しています。

子どもに最初に説明す
るのは「生きる」「育つ」
「守られる」「意見を言
う」といった子どもの権
利です。親と
の関係、友だ
ちのこと、施
設のルール
:。「あなた
に関わること
は何でも話し
ていいんだ
よ」と伝えま
す。



子どもたちは、親
からの暴力
などで心に傷
を負い、大人
に不信任や
恐怖心を抱
く子ども少なく
ありません。

檀崎さんは「アドボケイ
トは話を丁寧に聞き、そ
の意見に寄り添って誰か
に伝えるお手伝いをして
います」と話します。



こうした意見表明の支
援活動は児童福祉法の改
正で24年から自治体の努
力義務となり、全国の児
童福祉施設で広がってい
ます。背景には18年に東
京都の5歳女児が、19年
に千葉県の小4女児がそ
れぞれ虐待を受けて亡
くなる悲惨な事件があり
ました。いずれも子ども
が発したSOSは生かさ
れませんでした。

檀崎さんは「大人側は
社会のシステムの都合で
どんな決める傾向があ
り、子どもの声は置き去
りにされがちです。小さ
な子どもが自分で権利を
行使するのは難しく、
大人側が子どもの権利を
正しく理解する必要があ
ります」と訴えます。

この日 何の日

◇19日(日) 地図の日

1800年のこの日、江戸時代の商人・地理学者の伊能忠敬が日本全土の実測地図作成のため、北海道への測量に江戸を出発した日だよ。忠敬はその後全国を歩き続け、完成までに21年もかかったんだ。

きょうの紙面

- 2面 世界へんてこ建物ツアー
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 こども基本法3年

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ